

令和5年度 認定こども園評価 報告書

1. 本年度の重点目標

「しなやかな心と体で個性豊かに遊び込める子どもに」	①読み聞かせによる体験保育
元気いっぱい遊べる子 やりとげる子	②のびのびと体を動かして遊ぶ
考えて行動する子 待てる子	③日本の伝統を大切にしながら、外国人先生にも親しみ、真の国際人を育てる
思いやりのある子 思いを言葉で表現できる子	④アクティブラーニングの実践

2. 園評価項目

未満児 0.1.2 歳児 / 以上児 3.4.5 歳児

分野	評価項目	園自己評価 改善の方策 等	園関係者評価
保育方針	「しなやかな心と体で個性豊かに遊びこめる子どもに」を目標に各年齢に応じた計画をたて、元気いっぱい遊べる子、考えて行動する子、友達と仲良くできる子の育成に向けて努力する。	<ul style="list-style-type: none"> ・各年齢別に、何度も研修を行い、一人ひとりを大切にした保育と内容の充実につとめてきた。 ・気になる子については、臨床発達心理士に来てもらい、一緒に指導方法について考え対応した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・未満児・以上児共に、先生が子どもにしっかり寄り添い関わっていた。 ・自分でしっかり考えて動き、最後までやり遂げることができるよう対応されている。
職員について	子どもの発達段階及び保育、教育のあり方を学び、子どもの心に寄り添うことや保護者との協同など、総合的に子どもの理解をめざす。特に未満児の場合は指導的立場の職員と経験不足の職員を同じ担当クラスに配置して、保育状況を目で見て理解できるよう配慮する。	<ul style="list-style-type: none"> ・園内でオンライン研修を受け、保育の内容の充実、向上につとめた。 ・未満児については、担当制を取り入れて、より深く子どもの気持ち等を知るようにし、対応を行う。 ・必要に応じて、保護者との面接を行い、子どもへのあたたかい対応について話し合った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の元気な挨拶や親子に対する優しい声かえに、いつも温かい雰囲気を感じる。 ・子ども一人ひとりへの関わり丁寧で、安心して預けることができる。 ・子どもの様子や家庭ですべきことを伝えていただけなので、安心感がある。

園児について	<p>十分な保育や教育が出来るよう努力する。子ども達が毎日楽しみに登園できるよう、十分な声かけやスキンシップを行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・園児の様子を見守りながら、一人ひとりの思いや願いを大切に理解を深めた。 ・手洗いや咳エチケットなど感染拡大防止のルールについて、実践できていた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・先生の毎日の優しい声かけやスキンシップにより、子どもたちは安心して楽しく園に通うことができた。 ・担当クラス以外の園児にも声かけ等をされており、園全体で見守っていると感じる。
施設・整備について	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に遊具、施設設備の点検をして、安全面に注意をはらい、ケガのないようにする。 ・不審者侵入対策について、録画カメラの設置をしたり、開門時の立ち当番をおいたりして、心がけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・遊具、施設、設備の安全点検を行い、消毒を心掛けた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設内は常に清潔に保たれ、整理整頓も行き届いていた。 ・遊具の点検不備による事故がなく、安心して遊ばせることができた。
保育内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本の読み聞かせにより、自然や動植物、物語等に興味を持つ子供を育てる。 ・保育内容は自分の思いを言葉で伝えられるようコミュニケーション能力を高める。 ・アクティブラーニングの取り組みや英語学習システム「サイバードリーム」を取り入れ、園児自らが楽しんで努力できる子どもに成長するように導く。 ・鉄棒、マット、跳び箱、のぼり棒等、走ったり、跳んだりすることを楽しんで挑戦できるように導く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日、月刊絵本の読み聞かせを行っているので、字が読めなくても、内容を語るができる。 ・サークル活動等で自分の考えについて、自信を持って話すことができるようになってきた。 ・英語学習「サイバードリーム」を毎日楽しむ園児が増えてきている。 ・鉄棒、跳び箱等、体育用具を使う運動は、雨天でもホールを利用して実施したため、運動能力が伸びてきた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・月刊絵本の毎日の読み聞かせ、いつでも絵本に触れることができる環境により、文字や絵、物語に興味を持つことができた。 ・サイバードリームなどの英語学習により、子どもから教えてもらうことが多く、楽しんで学べていることが伝わってくる。 ・逆上がりや跳び箱、コマ回しなどを通して、挑戦する力がついていると感じる。

<p>預かり保育について</p>	<p>子どもの状態に応じて、慣らし保育や合同保育等、色々な対策を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・年齢や子どもの発達段階に応じて、一時保育室か同学年の保育室での合同保育かを決めて、充実につとめてきた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の思いや子どもの気持ちにしっかりと寄り添って、安心して保育園生活を送ることができるよう、配慮がされていた。
<p>子育ての支援について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・入所者以外の親子を対象とした「まちの子育てひろば」を開催している。親学をはじめとして、リズム遊びや読み聞かせ等、親子遊びの活動を通じて子育て中の親子が集える場を提供する。 ・園児の保護者には子育て学習会『親学』を年5回実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「まちの子育てひろば」は、多くの申込みがあり予定通り17回実施した。 ・教育相談に申し込んできた人に対して、相談に応じている ・園児の保護者を対象に行う『親学』を、5回実施できた。 ・園児の保護者には、必要に応じて要点等をプリントして発信した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の子育て家庭の支援や、園児の保護者に対する支援も充実していた。 <p>今後も引き続き、支援を継続していただきたい。</p>
<p>給食等の実施状況について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・給食懇談会を行い看護師、栄養士、保育士を交えてアレルギー児対応や安全給食について学習会を行う。 ・給食試食会を開催し、保護者の意見を取り入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス担任と栄養士が、個々の発達に合わせた個別対応について頻回に話し合い、きめ細かな対応をした。また、給食日よりで情報提供した。 ・アレルギー児について、一覧表を作成し、全職員に周知徹底した。 ・毎日の献立や使用食材の写真を掲示し、園の食事の見える化ができた。また、その掲示物を見て、給食について親子で会話する姿も見られた。 ・3、4歳児の給食時に飛沫防止ガードを使用した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・懇談会の際には、栄養士が同席して給食やおやつについての話を聞くことができ、食育に対する園の思いを知ることができた。 ・給食メニューの写真掲示は、とてもわかりやすく、よい取り組みだと思う。

<p>保護者会等の活動状況について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・園児の保護者及び職員が一体となり、園と家庭との連絡を密にし、園児に対する正しい理解を深め幼児教育の向上を図る。 ・年に数回、参加型行事や参観の機会を設けて、本園の保育について理解をえたり、意見をうかがったりする。 ・問題を抱えている園児については必要に応じて相談会を設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「意見箱」に入っていた意見や直接要望を聞いた事等については、十分に調べたうえ、共に話し合いをして結論を出した。 ・年に数回、参加型行事を実施した。その際、感想等で意見を聞く機会もあった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・参加型行事の際に、担任からクラスの保育内容や子どもの姿等を聞くことができるとともに、家庭での関わり方について教えていただくことができ、大変参考になった。 ・外部の講師の方のお話を聞く機会を設けていただき、感謝している。
<p>登園・降園について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事故防止の為、必ず保護者同伴を原則とし登園、降園時の安全に配慮する。 ・駐車場や道路での往来について、保護者へ注意をはらうよう依頼している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・夕方 17～18 時（降園児が多い時刻）は、道路を横断する際、安全を確保するために駐車場、門の 2 か所に職員の立ち当番を設けた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員による門や道路、駐車場での見回りや誘導のおかげで、安全に園を利用することができた。 ・駐車場内でのスピード出し過ぎや逆行ルートでの走行、子どもの飛び出しなどを防ぐための注意喚起は継続してほしい。
<p>園児募集について</p>	<p>見学者については、日時を設けて対応している。障がいのある幼児の入園相談も行っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・見学者希望に対しては、見学日を設けて、ゆっくりと丁寧に説明をし、相談に応じた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・見学時には保護者の質問に丁寧に対応していただき、保育内容も具体的に教えていただけて、わかりやすかった。 ・障がいのある子どもにも対応されており、助かる保護者も多いと思う。
<p>財務状況</p>	<p>公認会計士の監査を受け適正に会計処理を行っている。ただし、国の職員配置基準を先取りし保育士を多く採用しているため、人件費が過剰で収支の均衡が崩れている。</p>		

準備リスト